

終生飼養と飼主責任

「動物の愛護及び管理に関する法律」「和歌山県動物の愛護及び管理に関する条例」において飼主は飼育している動物を終生に渡り飼うことを求めています。

動物の愛護及び管理に関する法律

動物の所有者は、その所有する動物の飼養又は保管の目的等を達する上で支障を及ぼさない範囲で、できる限り、**当該動物がその命を終えるまで適切に飼養することに努めなければならない。**

和歌山県動物の愛護及び管理に関する条例

動物の所有者は、畜産、実験その他の正当な理由がある場合を除き、**当該動物を可能な限りその終生にわたり飼養するとともに、飼養できなくなった場合には、自らの責任において新たな所有者等を見つけるよう努めなければならない。**

どうしても飼い続けることが出来なくなった場合、**ご自身で新たな飼い主を探す努力をしてください。**動物愛護管理センターで引き取ることもありますが、飼い主さん自身で新たな飼い主を探す最大限の努力をしていただいたうえでの話になります。

新たな飼い主を探す方法

- 地方紙に掲載する。
- 和歌山県動物愛護センター「新しい飼い主探し掲示板」を利用する。 など..

相談窓口

和歌山市動物愛護管理センター
和歌山市松江東3丁目2-63
電話 073(488)2032

ペットと暮らすシニア世代の方へ

♥一緒に長く幸せに暮らすためのヒント♥

ペットとの暮らしは、私たちに幸せをもたらしてくれます。ペットから寄せられる信頼と愛情を感じて幸せな気持ちになれる。ペットの話題を通して、家庭やご近所での会話が弾む。散歩仲間など地域とのつながりができる。ペットのためにも健康でいなきゃ！と気力がわきます。

でも、ペットを飼う前に少し考えてほしいことがあります。それはペットを最後まで飼うことができるかどうかです。近年は犬や猫の寿命が延び、平均寿命は犬猫とも15年ほどになります。

仮に、65歳から飼い始めた仔犬や仔猫が平均寿命まで生きただけの場合、飼い主は80歳になっています。もちろん80歳でも元気に活動されている方もおられますが体力・気力が衰え、犬猫の世話ができなくなる方もいます。

飼い主には、ペットがその命を終えるまで適切に飼養する「終生飼養」の責任があります。どうしても飼えなくなった場合でも、飼い主が先に亡くなった場合でも、ペットが安全に安心して暮らせる環境を用意してあげることが飼い主の努めです。

ペットを飼う前に、このことを十分考えるようにしてください。



シニア世代とペットとのかかわり方

その1:ペットは飼わず、他の方法で動物とふれあう。

- ボランティア活動や近所で飼われているペットを通じて動物とのふれあいを行う。
- 動物園のふれあいコーナーなどを利用する。

その2:その1だけでは満足できない。やっぱりペットを飼いたいときは・・・

- 仔犬・仔猫から飼うのではなく、成犬・成猫を飼う。

例えば・・・

◇ 自治体等の譲渡会で成犬・成猫を譲り受け、飼育する。

※和歌山市動物愛護管理センターでは保護された成犬・成猫の譲渡を行っています。

ただし、譲渡に際しては審査があります。

◇ 引退後の盲導犬などを飼育する。

- 一時的に預かり飼育する。

※和歌山市動物愛護管理センターは保護された仔犬や仔猫を一時的に市民の方などに預かっていただき、譲渡先を探してもらう制度があります。

でもこんなことが起こるかもしれません。

◇ ペットの世話が大変になってきた

- ◇ 自分の体力が落ちてきて、毎日の世話をするのがおっくうになってきた。
- ◇ 家族が入院してしまい、ペットの世話まで手が回らなくなった。

◇ 少しの間、預かってもらいたい

- ◇ 自分の検査入院が必要だと医師から言われているが、ペットがいるから入院できない。
- ◇ ケガをしてしまい、自宅療養が必要となった。治るまでの間、ペットの世話をどうしよう。

◇ ペットの世話に不安がでてきた

- ◇ ペットも高齢になり、歩行困難や認知症など、介護が必要となったが、専門的な知識もなく、どう対応したらいいかわからない。



困ったことが起こったときのための解決方法を考えておく。



ヒントはその3

その3 困った時のための準備・・・

- 民間事業者のサービスを利用したり、動物病院などで専門的なアドバイスを受けることを考えておきましょう

◇ ペットシッター・・・

ペットシッターは飼い主に代わってペットのお世話を一時的に代行してくれるサービスです。

◇ 犬猫の美容室・・・

ペットのシャンプーや被毛のカットを行います。ペットの送迎をしてくれるところもあります。

◇ 動物病院・・・

介護の必要な動物の専門的なアドバイスを受けることができます。

- 一時的に預かってもらう先を見つけておきましょう。

◇ 親戚や友人、ご近所・・・

いざというときに、手助けしてもらえるように普段からコミュニケーションが大切です。

ペットも慣れていれば安心です。

◇ ペットホテル・・・

※センターでは「一時預かり」は行っていません。

- 万が一飼えなくなったときのために新しく

飼ってもらえる人を見つけておきましょう。

